資料２－１

「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の概要

１．調査の概要

※ **同一客体を長年にわたって追跡**する調査。統計法に基づき、総務大臣の承認を得て行う**一般統計**

（１）目　的

平成22年に出生した子供の実態や経年変化の状況（**子供が成長し、年齢を重ねる中での意識や行動の変化等**）を継続的に観察し、教育施策や少子化対策等の検討・立案に資する基礎資料を得る。

平成13年出生児を対象とした同調査との比較を行う。

（※ 第16回（高校１年時に相当）以降、教育との連携等のため、文部科学省が主体、厚生労働省と共管で実施）

（２）調査対象（本人（子供）と保護者に調査を実施）

平成22年5月（5/10～5/24）に**出生した者**（全数調査）　（※ 第15回の配布数：**計24,546組**）

（※　第17回の本人（子供）の年齢：**17歳**（**高等学校２年時等に相当**））

（３）調査期日　毎年7月18日現在

（４）調査事項

【全　員】現在の状況（在学、就業等）、性格等（精神的健康、自尊感情）

【在学者】学校生活の満足度、アルバイト、家や塾での勉強時間、将来について 等

【就業者】仕事の内容、労働時間、収入、訓練・学習活動、将来について 等

（５）第17回スケジュール（予定）

令和８年8月～11月　総務省への変更承認申請

9年７月～9年10月　調査実施

9年11月～10年10月　確認・集計等

10年10月末までに　結果公表